

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市恩田地域ケアプラザ

■ 事業報告

事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

- ・当ケアプラザの担当地区の高齢化率は、約 19%ですが、あかね台中学校が新設されたことにより、周辺の新興住宅エリアの年齢層はやや若い人口の方がお住まいになっておりますが、徐々に高齢化は進む傾向にあります。
- ・地域の現状としては、各団体で長年活躍されている方のつながりが強く、昔からの関係性ができている地域特性があります。地域のニーズをより把握し、アセスメントするために、自治会や恩田地区社協、民生委員や老人会との関係を引き続き強化することが必要な努力と考えております。
- ・地域での課題としては、ケアプラザから離れている松風台、桂台、田奈町等の地域に対する働きかけを行い、関わりを積極的に行い、ニーズの把握により、各地域に出張したり、集いの場を構築していく等の調整を行い、柔軟に対応することが必要であると考えております。
- ・恩田地域ケアプラザの立地環境として、青葉区内では町田市との県境にあり、山間部にあたりますが、平成 27 年度にバス便が減るなど、交通の便がやや悪く、また坂道も多い為、高齢者世帯の移動手段が地域課題の声としてあがることが多いのが現状です。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・総合相談においては、高齢者の介護相談ばかりでなく、その家族の精神疾患や障害などの相談も多く、より複雑になってきています。医療機関やその他専門機関との連携強化を図り、チームによる支援体制を整え取り組んでまいりました。
- ・実親と義理の親の介護・孫のケアと親の介護という介護の重層化やダブルケアでストレスを抱える家族の支援体制にも力を入れました。
- ・育児で不安を抱える保護者からの相談には、必要に応じて適切に子育て支援の関係機関へと繋げていけるよう連携を図り、実際に乳幼児を抱えながらターミナルの親の介護相談ケースに対し、介護・医療サービスに繋げる一方、子育て支援として地域交流と連携しラフールを情報提供し介護者の負担軽減を図りました。
- ・障害者が高齢になり介護保険の対象となった方には、丁寧な説明を心掛け、混乱なくスムーズにサービス移行ができました。

(3) 各事業の連携

- ・介護や育児の孤立化の予防のためにも地域住民が気軽にケアプラザに来館してもらえるよう地域活動交流部門・地域包括支援センター・生活支援コーディネーターが情報交換を行いながら、あらゆる世代向けの事業や講座の開催を行いました。
- ・ケアプラザの周知を図りながら、遠方のエリアには積極的に出向いて行き出前講座などの開催を行い、元気塾の立ち上げなどに向け互いに協力してきました。
- ・生活支援コーディネーター部門が配置されたことにより、5職種が有機的に連携を図り、地域の活性化へと相乗効果が発揮できるような体制づくりを構築してまいりました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- | | | |
|----------------|--------|---------|
| ・ 所長 | 常勤 1 名 | |
| ・ 地域包括支援センター | 常勤 3 名 | |
| ・ 介護予防支援事業所 | 常勤 1 名 | 非常勤 1 名 |
| ・ 地域活動交流部門 | 常勤 1 名 | 非常勤 4 名 |
| ・ 生活支援コーディネーター | 常勤 1 名 | |
| ・ 居宅介護支援部門 | 常勤 3 名 | |
- ・ 部門ごとの月例会議及び包括・地域交流・生活支援部門合同の5職種会議、職員全体会議、それぞれの場で情報共有を行い、研修計画に基づき常に学習への意欲を持ち、スキルアップに努めました。
 - ・ 事業者との関係性を公平に保てるよう連携を図り、地域利用者がサービス事業者等の選定を希望する場合は、ホームページやサービスガイド等を示し、利用者・家族主体で選んでいただきました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・自治会、地区社協、民生児童委員、保健活動推進員、ヘルスマイト、老人クラブ等の会合や行事への積極的な参加により、連携、協力体制、顔の見える関係性作りに努めました。
- ・地域住民や地域福祉の関係機関など、地域ケア会議や協議体への参加を促し、地域全体で課題を共有し解決策を共に考えていけるようなネットワーク作りを構築しました。
- ・医療機関訪問や協力医との連携を図り、講座開催や包括カンファレンスなどで地域における医療と介護の連携を図りました。

(6) 区行政との協働

- ・区の地区担当者とは常に情報共有を行い、困難ケースへの支援、虐待ネットワークミーティング、地域の課題等に対し解決に向けて連携を図りました。
- ・区とケアプラザの協働事業にも（子育て支援から高齢者まで）積極的に協力し、常時、報告・連絡・相談を心がけていきます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・「きらピカ☆まちびと」では、館内に大きなマップを掲示し、来館者に書き込みして頂き情報を収集した。その地図を参考にしながらまち歩きをして恩田地区に社会資源および良い所や課題を知る。地域で課題に取り組む方を講師に迎えて話を聞く。地図はケアプラザの他にコミュニティーハウス、障害者グループホーム、サ高住、子育て拠点、信用金庫、近隣にある中学校、学習塾等様々なところにも置き、地域全体の様々な年齢の方に参加して頂くことが出来ました。
- ・「恩故知新隊」を結成し、地域の歴史を知る方と共に歩いたり、恩田地区に長年暮らしている方から生活の移り変わりを聞いたりして、地域の魅力を再発見しました。事業の企画段階から地域住民に参加して頂き、楽しく参加出来るよう工夫しました。
- ・「悠 YOUmen's」を2グループ実施し、60歳以上の男性が自宅でも簡単な料理を作れるように学びながら、仲間作りをしました。活動の一環として、ケアプラザの「ふれあいフェスタ」での出店や「みんなで昼食会（高齢者を対象とした食事会）」では食事会の作り手、「はらぺこキッズ（低学年の簡単料理）」のサポーター役として協力して頂きました。
- ・地域に住む主婦層を対象に手芸講座を月2回実施し、手芸で小物を作るという身近なことが地域貢献になることを体験しました。また、近隣にお住いの介護をされている方からの依頼で、脱着しやすいよう衣服をリフォームして大変喜ばれました。
- ・「生活お役立ち講座」を7回実施し、「まち歩き」「アロマで健康増進」「減災」等、様々なテーマを取り上げて、今すぐ生活に役立つ最新の情報を発信しました。
- ・未就園児を対象としたフリースペース「大きいいちご」「小さいいちご」「親子のひろば」を常設し、保育園と共催で子育てに関わる講座を行ったり、ボランティア保育士とピアニストによる「あゆちゃんとうたってあそぼう」を月1回行い、子育て中の保護者が子育てを楽しみながら、仲間作りが出来るような機会を増やし、孤立を防ぐよう努めました。
- ・「おはやし体験会」では地域の伝統芸能を体験しながら、未来の担い手を養成致しました。参加者は3歳から80歳以上の方まで幅広く、多世代交流の場にもなりました。
- ・地域住民が主体となって実施するコミュニティーカフェの立ち上げるに際し事前に話し合いや学習会を行い、他のカフェへの見学や必要物品の貸し出し、ボランティアの依頼等の協力をしました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・地域で活動する団体への部屋の貸出を行いました。
- ・活動団体に部屋の貸出があることをブログや広報紙を使ってPRしております。
- ・登録している団体の活動が誰でも分かるよう、ケアプラザ窓口に福祉保健支援団体の活動を紹介するファイルを置き、地域の方が参加しやすいように工夫しました。
- ・地域の方が福祉保健支援団体を知る機会を設ける為、各団体と体験会を実施し、地域の方が気軽に活動団体へ参加出来るよう支援しました。
- ・登録団体の活動を広く発信する為に館内の掲示板を活用したり、広報誌で紹介したりしました。
- ・新たに福祉保健支援団体として登録される場合は部屋の貸出状況を案内し、比較的に利用の少ない夜間や週末等の時間帯を案内して活動しやすいよう配慮しました。
- ・福祉保健支援団体の協力のもとケアプラザの事業を実施したり、近隣にあるコミュニティーカフェや「あおばカノン（チャリティーコンサート）」で演奏会等を行い、参加者や活動団体にも喜ばれました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・「コーヒーで地域貢献」「お花のボランティア」の講座を受講された方が、ボランティア人材として継続して地域で活動出来るよう支援しました。お花のボランティアはケアプラザの玄関前にお花を育て、ケアプラザに訪れた方に喜ばれました。コーヒーボランティアは「介護者のつどい」でコーヒーを提供して参加者からは好評でした。また新地域人応援講座で養成した写真グループには小さな事業から「ふれあいフェスタ」「あおばカノン」の他、近隣にある親と子のひろばの出張講座等にも出掛けて行き、記録係として協力頂きました。どちらも好きなことで地域に貢献出来るということで、継続して活動されています。
- ・あかね台中学校と連携協力し、定期テスト前にボランティア先生がいる自習室を実施しております。地域の方にボランティア先生として協力して頂いております。
- ・地域住民が中心となって立ち上げたコミュニティーカフェ、「松風サロン」を安定した運営が出来るよう支援しました。
- ・「実験サポーター養成講座」を受講された方が講師となり、年 3 回小学生を対象とした「科学実験教室」を実施しています。安全な教室を目指して、毎月実験を繰り返し試行し工夫しています。
- ・コミュニティーカフェや地域の集まりに、ケアプラザに登録されている楽器演奏や演芸のボランティアを紹介し、集まりが盛り上がるよう支援しました。
- ・近隣にある高齢者施設と協力して中学生や地域の方を対象とした「認知症サポーター養成講座」を実施しました。
- ・登録団体が必要とされている場に適切に繋がるようコーディネートしました。
- ・あかね台中学校の生徒会・福祉委員、各部活動に所属する生徒にケアプラザ事業やフェスタに参加・協力して頂き、日頃の成果を発表し、地域活動のきっかけ作りを行いました。
- ・よこはまシニアボランティア説明会を実施し、日頃からケアプラザを度々事業に参加されている方が、サポート役にもなるよう工夫しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ブログを適宜更新し、事業の報告やこれから実施する事業の案内を行いました。また、「広報よこはま」に記事掲載を依頼し、広く事業の案内をしました。ケアプラザ広報紙「みんなの和」を年 4 回発行しました。
- ・広報誌にて、隣接している中学校の福祉委員の日頃の活動を載せることで、学校と地域を結びつけ、エコキャップ収集に協力しました。
- ・毎月作成している事業カレンダーをブログに掲載し、若い世代の方もケアプラザの情報を簡単に入手出来、事業に参加しやすいよう工夫しました。子育て中の保護者から手軽に確認出来ると重宝されております。
- ・近隣の老人会が毎月発行している新聞に、ケアプラザの高齢者を対象とした事業を紹介しております。ケアプラザの情報が直接届く為、老人会会員にも喜ばれております。
- ・小学生向け事業は近隣の小学校 5 校にご協力を頂き、児童数のチラシを配布して、事業に参加しやすいようにしました。高齢者向けの事業は高齢者の集まりの際に案内する等、対象者に適切に情報が届くよう工夫しました。大規模な集合住宅やスーパー、総合病院や協力医、薬剤薬局、サ高住等にチラシの掲示をお願いし、情報提供する場を増やしました。
- ・地域のコミュニティーカフェや子育てひろば等、地域で活動する団体の集まりに参加し、地域の方との関係の構築に努め、情報収集をしました。
- ・事業を行った後にアンケートを取り、地域のニーズを適宜把握するよう努めました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・ 包括との地域ケア会議や、アンケートなどによる地域アセスメントから抽出された地域の課題解決の目標を、地域交流も含めたケアプラザ全体で取り組み、5 職種会議などで生活支援体制整備事業を伝えていき、連携を取れる体制づくりを整えていきました。
- ・ 区役所・区社協・他の地域ケアプラザと生活支援体制整備事業を推進できるように地域の情報の発信を行い、定期的にお互いに学びあい、ノウハウを共有できるようにしていきました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ 総合相談から地域による生活課題とニーズの把握を行い、地域の課題を分析し、まとめていきました。
- ・ 地域の自治会や老人会、各種団体が行っている活動に参加し、地域住民との対話の中で、細かな困りごとやニーズ、地域の課題など、情報の収集を行いました。
- ・ 地域での生活支援サービスを住民主体で行っているボランティアや、企業、事業所など把握を行いリスト化やマップに落とし込み、情報の共有ができるよう行いました。
- ・ 地域資源の情報をケアプラザ内や地域の事業所等で共有を行い、今後のケアマネジメントに活用されるよう包括や地域のケアマネジャー、各事業所と意見の交換を行いながら発信を行いました。

(3) 連携・協議の場

- ・ 地域の自治会や老人会、防災会議などに参加を行いながら、お互い連携が取れていけるよう支援しつつ、ほかの協議の場の把握に努めました。
- ・ 各地域での地域と課題の解決に対して協議の場を重ね、目指す地域像を共有しながら地域づくりができるよう連携を行いました。
- ・ 連携・協議の場への参加を通じて、地域ごとの特性や実情に合う生活支援・介護予防・社会参加となる活動やサービスの創設となるよう働きかけ、現在ある活動は維持や発展できるように支援いたしました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・ 連絡会などで区役所・区社協と常に連絡連携を取りながら情報の共有を行い、担当地域の課題と結びつけながら広域の地域課題から関連付けました。
- ・ 他の地域ケアプラザとも情報を共有しながら、お互いに共同で連携を取りながら広域の地域課題解決に向けて行いました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・可能な限り地域に出向き、民生委員等関係機関との連携を密にはかり、支援のネットワークの強化を図りました。新人民生委員への包括の周知や相互協力の重要性など認識していただけるよう定例会に出向き、保健活動推進員、友愛活動員を対象に認知症サポーター養成講座を実施し認知症への理解を深めていただきました。
- ・インフォーマル冊子の積極的な活用や地域のサロン、各種活動の把握を行い、様々な団体との有機的なつながりを構築しました。
- ・ワンストップサービスを常に心がけ、相談者の負担軽減減を心掛けました。
- ・総合相談の内容を分析し、エリアの傾向・特徴を考慮したインフォーマルサービスなどの構築を5職種で検討しました。

② 実態把握

- ・区役所や区社協等から、エリア内の高齢化率や介護保険利用状況などの統計資料を包括内で共有し、地域ケア会議や個別支援に活かすことができました。
- ・利用者アンケートを実施し、自由記載欄の一言も真摯に受け止め、より良い支援に繋げました。
- ・坂が多いなどの地理的要件も高齢者に及ぼす影響は大きく、高齢ドライバーやゴミ捨てなどの課題も民生委員等と共に考えながら対応しました。

③ 総合相談支援

- ・ご本人の思いを尊重しながら迅速で適切な支援ができるよう心掛けました。
- ・包括内の誰でも継続相談が可能になるよう受けた相談は一元的に管理し日誌や相談票で情報共有し相談者への負担軽減を図りました。
- ・複雑化・多様化する相談にも適切に対応できるよう関係機関との連携を深め、参加した研修は会議内での伝達研修など職員全体のスキルアップに努めました。
- ・介護保険の利用ばかりでなく地域のインフォーマルサービスも情報提供し、利用に繋げました。
- ・ケースとしては終了しても残された家族へも介護予防の視点を持ちつつ、またグリーフケアなど適切にフォローしていきました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・成年後見制度の普及啓発講座を「介護者のつどい」において実施しました。
- ・法律の専門家による個別相談会を法テラス神奈川の協力のもと実施しました。
- ・個別支援においては丁寧でわかりやすい説明で制度の理解を深めていただき、すみやかに申し立ての支援ができるよう心掛けました。
- ・消費者被害の防止策として消費者センターなどから送られてくる資料活用などで、最新の情報等を織り込みながら、被害の未然防止策として老人会やサロンなどにおいて注意喚起を促す講話などを行いました。
- ・青葉区版エンディングノート「わたしノート」の書き方講座を奈良包括と共催で実施、恩田包括独自でも2回行い、地域住民自身の権利擁護の意識を高めていただきました。

② 高齢者虐待への対応

- ・ 認知症の方のいる世帯、障害や無職の家族との同居などハイリスクな世帯への支援に力を入れ虐待予防の視点で関わりました。
- ・ 早期発見のために、ケアマネジャー、民生委員等、地域の協力機関との連携に努め、通報・相談しやすい関係性を築きました。
- ・ グレーケースや疑いの段階でも相談票を提出し区との連携・役割分担により適切な支援を行いました。
- ・ 介護者の負担軽減のため、また就労者でも参加できるよう「介護者のつどい」を土曜日の午後に開催し、心理カウンセラーや行政書士などを交えて専門家の立場からの講話を実施しました。
- ・ 夫から妻への長年のDVが虐待になったケースも数件あり、区や民生委員などと連携を取りながら慎重に支援を進めました。

③ 認知症

- ・ 認知症の正しい理解のための普及啓発として、地域住民や中学生などを対象に「認知症サポーター養成講座」を3回開催しました。
- ・ 認知症の方の早期発見のために地域からの情報に常にアンテナを張り早期受診や支援に繋がるよう取り組みました。
- ・ 認知症初期集中支援チーム会議には、ほぼ毎回出席し専門家からのアドバイスを受けると共に、チームとの同行訪問を重ね、ご家族に受診の必要性の認識を深めていただきました。
- ・ 必要に応じて「青葉区徘徊高齢者あんしんネットワーク」を情報提供し、認知症になっても安心した地域での暮らしができるよう支援に努めました。
- ・ 認知症が原因と考えられる、非衛生的な生活環境のセルフネグレクトのケースや、極度に受診を拒否するケースなど、区やケアマネジャーと連携して取り組みました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 民生委員や保健活動推進員、老人会等の集まりに包括センター3職種や生活支援コーディネーターも含め出向き、地域ケアシステムや地域ケア会議、介護保険制度やサービス利用、ケアマネジャーの役割などについて周知しました。
- ・ 地域のインフォーマルサービスや関係機関などの地域資源を整理しまとめ、ケアマネジャーの相談に応じ情報提供を複数回行いました。
- ・ 定期的に包括カンファレンスなどで関係機関等との交流や情報交換の機会を8回設けました。
- ・ 地区の民生委員の見守り事業へ協力支援を行い、適宜個別にケースの相談や連携した支援を行いました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・ 主任ケアマネジャー分科会やケアマネジャー連絡会等と協力し、医療関係者との情報交換会、勉強会を行う「医療連携会議」「顔の見える関係作り会議」を通し、青葉区内主任ケアマネジャーの担当者を通じてや、直接関わり連携を深めました。
- ・ 個別ケースの対応の際などにエリア内の医療機関などに訪問し、包括支援センターのPRと連携方法の確認を行いました。
- ・ 区域で作成した医療連携の冊子の活用や青葉区在宅医療連携拠点と個別のケースでも連携し医療と介護の円滑な利用に向けた支援を実施しました。
- ・ 地域ケア会議等を通じて医療介護関係機関と地域も含めた連携を深めることができました。
- ・ ねっとわーく青葉と連携し、包括カンファなどの機会を利用して、医療関係者と福祉介護関係者の意見交換会などを成功裏のうちに開催できました。

③ ケアマネジャー支援

- ・ 地域のケアマネ事業所を月1回程度訪問し、最新の情報を提供するとともに、気軽に相談しやすい関係性を構築し、困難ケースなどの早期対応・悪化予防・相談支援を行いました。現に訪問の際あるいは、その直後に個別の相談がありました。
- ・ 3職種それぞれの専門性を活かし、ケースに応じた的確な助言ができるように、連携して支援していけるよう取り組みましたが、まだ十分とは言えずH30年度に強化して取り組みます。
- ・ 区役所や主任ケアマネジャー分科会と協力して新任ケアマネジャーへの研修・実習支援を年2回開催し、恩田包括センターとして、2人の実習生を受け入れました。
- ・ 主任ケアマネジャー分科会と協力してケアマネジャー自主勉強会を企画・実施・支援しケアマネジャーのスキルアップを図りました。
- ・ 毎月1回ある『区と包括カンファ』を通じて、支援困難ケースについては、速やかに区役所と連携し役割分担しながら対応し、ケアマネがいるケースについては、カンファレンスに招いてケース検討を行いました。また、ケアマネを招かなくても電話等で経過を確認しケース検討の上フードバックしました。
- ・ 地域のケアマネジャーが支援対応困難事例等について、検討し助言や意見交換等ができるよう、事例検討会が開催できるように準備を検討しましたが、具体的な企画・開催には至りませんでした。H30年度には近隣包括センターとも協力し、開催を検討します。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 地域ケア会議を開催、会議を積み重ねることで、医療機関や介護保険事業者ばかりでなく、地域関係者もネットワークの輪に参加していただき、地域課題の抽出と解決に向けた方策を検討はできました。H30年度はこれまで数年にわたってあげてきた課題をケアプラザ全体エリアで検討し、地域包括ケアシステム構築に資するよう取り組みます。
- ・ 包括カンファレンスにおいて、職業的専門職かそうでないか、フォーマルサービスかインフォーマルサービスかを問わず、多職種連携・多職種協働の関係構築を支援し、地域包括ケアシステムのネットワークの構築を図ってきましたが、ややインフォーマルサービスについて関わりは少なかったように思います。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 要支援者に対して、自立支援に向けて生活機能向上に対する意欲を引き出し、自主的に介護予防に取り組めるよう具体的な提案を行いながら支援しました。また、総合事業へ移行された対象者へは、引き続き地域のインフォーマルサービスなどを紹介し、地域で支えあいながら生活ができる自信が持てるよう様々な関係機関と協力できるように日頃からの連携や協力体制を整えて情報提供を行いました。
- ・ 委託先のケアマネジャーに対して介護予防支援業務に関する勉強会の実施（恩田地域ケアプラザにて介護予防従事者研修）や包括カンファレンスなどを通じて意見交換や情報提供の機会を設けて、連携を強化しました。
- ・ 困難なケースについては、区役所や関係機関と連携をしながら支援を行いました。また、日頃から顔の見える関係を構築し、早期に対応ができるよう関係性を深めていきました。
- ・ 介護予防に資する社会資源の発掘や把握に努め地域情報を整理しながら情報発信を行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 介護予防普及啓発強化事業として、地域アセスメントから得られた課題を踏まえて介護予防に関する講座（脳活・体操教室、スクエアスクエアステップ講習会等）や講演会（認知症について、足と爪の話等）を開催しました。
- ・ 「GOGO 元気塾」を、恩田地域ケアプラザと、JA 横浜田奈支店の会場にて2クール開催しました。ケアプラザには遠くて来られない方も参加してもらうことができました。
- ・ 元気づくりステーションを、桂台コミュニティハウスにて新しく立ち上げることができました。参加者の人々がそれぞれ役割を持ち活動を続けています。
- ・ ノルディックウォーキングは、継続して行っていますが参加人数が増えず自主化にはいたりませんでした。
- ・ 地域の老人会からは、介護予防の話依頼されて8か所参加することができました。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・機械警備、消防設備、空調機器、電気設備、昇降機及び害虫駆除、植栽管理について、定期点検等の業務委託により、実施しております。
- ・館内の日常清掃・定期清掃について、委託業者を選定し、実施しております。
- ・設備総合巡視点検について、専門業者に委託し、総合的に施設の維持管理を行っております。
- ・29年度についても、毎月第4月曜日を施設点検日と定め、集中的に定期点検等を実施してまいりました。
- ・毎日の業務終了時に、自主点検記録票をもとに全館をチェックし、不具合がないか日々の確認を行っております。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・事業の運営方針として、地域の利用者が自立した日常生活を営めるよう支援することを目標に、ニーズや要望を尊重し、公平中立にプランを作成し、地域のサービス事業者との連絡調整を行っております。
- ・事業の実施に当たっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めております。
- ・業務の見直しを行い、経費の削減、節約に努めてまいりました。

(3) 苦情受付体制について

- ・利用者、地域住民等からの苦情受付について、苦情を受けた職員は速やかに所長に報告を行い、所長は法人本部、区役所との綿密な連携で対応を行います。苦情の内容については、苦情受付記録簿に記録し、情報の共有及び改善対策を講じていきます。苦情の対応について、職員全体で定期的に研修を行っております。
- ・苦情処理に関し、窓口担当者及び管理者等、当事者の判断の他に公平な立場に立って苦情処理に関わる法人本部設置の第三者評価委員会の対応も必要に応じて行う体制を整備しております。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ケアプラザ職員間の緊急連絡網を作成し事務所に掲示して迅速に対処できるよう体制を整えております。
- ・防犯・防災の緊急対応については警備会社との契約により対応に備えております。
- ・館内の各部屋、ホール、トイレ等に避難経路を掲示し、利用者へ防災の促しを行っております。
- ・ケアプラザ内で定期的に防火防災訓練を実施し、防災時の行動について、常に意識を高めてまいりました。
- ・天災・地震等緊急時の対応については、避難場所が隣接のあかね台中学校であることを職員間で周知し、利用者の誘導にあたるようにしております。
- ・災害時における在宅要援護者のための特別避難場所として、応急備蓄物資を備え、緊急時の対応に備えております。

(5) 事故防止への取組について

- ・定期的に事故防止の研修を行い、職員全体の意識向上に努めました。
- ・ヒヤリハットや事故等の事例があれば、検討会を適宜開催し、予防対策を講じてまいりました。
- ・FAX誤送信や個人情報漏えいの事故を予防する為に、定例会議や職場内研修での周知を定期的に行い、ダブルチェック体制で確認作業を行っております。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・個人情報の保護に関する法律及び横浜市個人情報保護に関する条例、秘密保護に関する全ての法令並びに個人情報取扱い特記事項について、職場内研修や会議等の場を通して十分に理解するよう周知を図っております。
- ・利用者等の個人情報について、ファイル等は鍵がかかるキャビネットでの保管を義務付けて管理しております。
- ・個人情報の取扱いについて、改善すべき課題を検討し、対応策を実施することを目的としたリスク検討委員会を毎月行っております。

(7) 情報公開への取組について

- ・第三者評価制度に基づき、評価を受け、施設の取り組み事項について公表を行っております。
- ・利用者への事業案内、貸館の利用について、個人情報の取扱い、苦情処理等の対応、第三者委員の明示、居宅介護支援事業所運営規程、介護予防支援事業所運営規程等を掲示し、利用者への情報公開を行っております。

(8) 人権啓発への取組について

- ・「人権の擁護」と「権利擁護」について、全職員を対象に職場内研修を行い、子どもから高齢者までが集う保健福祉活動の拠点としての意識を高め、地域の誰もが安心して暮らせる地域作りについての認識を深めてまいりました。
- ・「人権」や「権利の擁護」について、幅広く、様々な問題がありますが、出来る限り、地域住民の皆様にも理解していただけるよう、掲示板やポスターでの啓発、ケアプラザでの事業等で機会に応じて職員からの啓発や、考えるきっかけとなるような取り組みを行なってまいりました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・館内の施設について、日常清掃、定期全館清掃を業者に委託して実施しております。
- ・館内の敷地周辺部の植栽について、専門業者による管理を行い美化に努めてまいりました。
- ・節電について、館内照明の管理と、エアコンの節電を徹底し省エネに努めております。
- ・館外の外灯は、季節に応じて、点灯時間を適正に管理しております。
- ・廃棄ゴミ処理について、横浜市のルート回収を利用し、廃棄ゴミ分別の徹底を図っております。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名	
社会福祉士	常勤兼務	1名	
主任ケアマネジャー	常勤専従	1名	
看護師	常勤専従	1名	
プランナー	常勤	1名	非常勤 1名

《目標に対する成果等》

要支援者に対して、自立支援に向けて生活機能向上に対する意欲を引き出し、自主的に介護予防に取り組めるよう具体的な提案を行いながら支援を行いました。

また、総合事業へ移行された対象者へは、引き続き地域のインフォーマルサービスなどを紹介し、地域で支えあいながら生活ができる自信が持てるよう、様々な関係機関と協力できるよう日頃からの連携や協力体制を整え情報提供を行ないました。

- ・委託先のケアマネジャーに対し介護予防支援業務に関する勉強会の実施や包括カンファレンスなどを通じて意見交換や情報共有の機会を設けて連携を強化しました。
- ・困難なケースについては、区役所や関係機関と連携しながら支援をしていきます。また日頃から顔の見える関係を構築し、早期に対応ができるよう関係性を深め、虐待のネットワークミーティングの開催などスムーズに行うことができました。
- ・介護予防に資する社会資源の発掘や把握に努め地域情報を整理しながら情報発信を行った結果、ケアプラザの事業への参加をきっかけに介護保険サービスから卒業されたケースもありました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者の実費負担はなし。



《その他（特徴的な取組、PR等）》

包括3職種及びプランナーそれぞれが互いに連携し、また委託先の居宅介護支援事業所とも良好な関係を築きながら支援してまいりました。

- ・個人情報には十分留意し、公平を期し、利用者のご家族が安心して自立した在宅生活が送れるように支援いたしました。
- ・インフォーマルサービスなどの情報提供も行い、地域に根付いた在宅支援を行いました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
136	136	131	145	146	148
10月	11月	12月	1月	2月	3月
143	144	149	142	143	143

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名
介護支援専門員	常勤専従	3名
	常勤兼務	1名
	非常勤兼務	1名

《目標に対する成果等》

地域包括支援センターをはじめ、行政機関や医療機関・福祉サービス事業所、地域のインフォーマル資源や福祉保健団体との連携を密に行い、住み慣れた地域での在宅生活を継続できるよう支援してきました。本人の自立支援のみならず、家族支援も視野に入れ、総合的な支援が行えるよう居宅事業所でも情報共有し支援の方向性を検討してきました。また各職員が研修に積極的に参加する事で自己研鑽しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- サービス提供範囲内の利用者負担はなし。
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

4名の介護支援専門員が在籍しています。（管理者含む）
 介護支援専門員の経験年数は異なりますが、職員全員で情報共有し、様々な支援困難ケースにも取り組んでいます。
 特定事業所加算Ⅲの事業所として、計画的な研修の実施および介護支援専門員一人一人が年間の個計画書を作成し、スキルアップを図りご利用者、ご家族様が安心して自立した生活が送れるように支援しています。
 また支援困難ケースでも適切に処理できる体制を整えています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
93	97	100	99	97	98
10月	11月	12月	1月	2月	3月
100	100	102	101	93	94

平成29年度「横浜市恩田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,599,250	△ 350,498	17,248,752	17,248,752	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	536,186	△ 536,186	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	330,930	△ 330,930	
印刷代	0		0	52,610	△ 52,610	
自動販売機手数料	0		0	58,320	△ 58,320	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	220,000	△ 220,000	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	349,750		349,750	349,750	0	
収入合計	17,949,000	△ 350,498	17,598,502	18,465,618	△ 867,116	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	8,500,000	0	8,500,000	9,196,122	△ 696,122	
本俸	6,300,000		6,300,000	6,288,275	11,725	
社会保険料	950,000		950,000	950,445	△ 445	
手当計	1,100,000		1,100,000	1,832,189	△ 732,189	
健康診断費	0		0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	150,000		150,000	125,213	24,787	
その他	0		0	0	0	
事務費	2,000,000	0	2,000,000	2,698,978	△ 698,978	
旅費	50,000		50,000	76,665	△ 26,665	
消耗品費	300,000		300,000	298,056	1,944	
会議随時費	0		0	0	0	
印刷製本費	400,000		400,000	414,319	△ 14,319	
通信費	600,000		600,000	618,029	△ 18,029	
使用料及び賃借料	0	0	0	2,760	△ 2,760	
横浜市への支払分	0		0	2,760	△ 2,760	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	33,048	16,952	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	120,000		120,000	123,224	△ 3,224	
職員等研修費	10,000		10,000	2,500	7,500	
振込手数料	50,000		50,000	45,280	4,720	
リース料	250,000		250,000	263,088	△ 13,088	
手数料	30,000		30,000	38,089	△ 8,089	
地域協力費	40,000		40,000	64,000	△ 24,000	
その他	100,000		100,000	719,920	△ 619,920	
事業費	542,000	0	542,000	578,009	△ 36,009	
運営協議会経費	42,000		42,000	27,357	14,643	予算-指定額
指定管理料充当 事業	500,000		500,000	550,652	△ 50,652	
管理費	6,227,000	0	6,227,000	4,685,374	2,470,956	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算-指定額
光熱水費	1,000,000	0	1,000,000	929,330	1,000,000	
電気料金	860,000		860,000		860,000	
ガス料金	20,000		20,000		20,000	
水道料金	120,000		120,000		120,000	
清掃費	800,000		800,000	788,358	11,642	
修繕費	474,000	0	474,000	123,502	350,498	予算-指定額
機械整備費	250,000		250,000	243,466	6,534	
設備保全費	1,223,000	0	1,223,000	961,131	261,869	
空調衛生設備保守	250,000		250,000	200,076	49,924	
消防設備保守	223,000		223,000	63,137	159,863	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	25,596	24,404	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	700,000		700,000	672,322	27,678	
共益費	0		0	0	0	
その他	2,480,000		2,480,000	1,639,587	840,413	
公租公課	680,000	0	680,000	735,689	△ 55,689	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	680,000		680,000	735,689	△ 55,689	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一ス対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	17,949,000	0	17,949,000	17,894,172	984,158	
差引	0	△ 350,498	△ 350,498	571,446	△ 1,851,274	

自主事業費収入	500,000		500,000	0	500,000	予算-指定管理料に含む
自主事業費支出	500,000		500,000	550,652	△ 50,652	
自主事業収支	0	0	0	△ 550,652	550,652	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	58,320	△ 58,320	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	2,760	△ 2,760	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	55,560	△ 55,560	

**平成29年度「横浜市恩田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,212,000	△ 387,172	22,824,828	22,824,828	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 2,177,812	3,611,188	3,611,188	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	118,500	△ 118,500	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	150,000	△ 150,000	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	126,400	△ 126,400	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充分)	0		0	126,400	△ 126,400	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	29,152,000	△ 2,564,984	26,587,016	26,981,916	△ 394,900	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,280,000	0	25,280,000	23,897,350	1,382,650	
本俸	12,930,000		12,930,000	12,295,170	634,830	
社会保険料	3,000,000		3,000,000	2,962,981	37,019	
手当計	9,000,000		9,000,000	8,327,161	672,839	
健康診断費	0		0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	350,000		350,000	312,038	37,962	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,000,000	0	1,000,000	1,318,377	△ 318,377	
旅費	200,000		200,000	203,488	△ 3,488	
消耗品費	50,000		50,000	50,545	△ 545	
会議贈い費	0		0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	88,628	△ 38,628	
通信費	150,000		150,000	163,735	△ 13,735	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	30,000		30,000	33,048	△ 3,048	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	175,000		175,000	175,020	△ 20	
職員等研修費	30,000		30,000	32,957	△ 2,957	
振込手数料	10,000		10,000	8,640	1,360	
リース料	50,000		50,000	54,432	△ 4,432	
手数料	20,000		20,000	25,393	△ 5,393	
地域協力費	20,000		20,000	20,000	0	
その他	215,000		215,000	462,491	△ 247,491	
事業費	1,246,000	0	1,246,000	858,222	387,778	
協力医	630,000		630,000	336,000	294,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	156,000		156,000	161,832	△ 5,832	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	154,360	△ 3,360	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	206,030	102,970	予算:指定額
管理費	1,626,000	0	1,626,000	1,245,472	380,528	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	250,000	0	250,000	247,036	2,964	
電気料金	215,000		215,000	202,570	12,430	
ガス料金	5,000		5,000	4,940	60	
水道料金	30,000		30,000	39,526	△ 9,526	
清掃費	250,000		250,000	209,562	40,438	
修繕費	126,000		126,000	32,828	93,172	予算:指定額
機械警備費	100,000		100,000	64,718	35,282	
設備保全費	310,000	0	310,000	255,489	54,511	
空調衛生設備保守	70,000		70,000	53,184	16,816	
消防設備保守	30,000		30,000	16,783	13,217	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	6,804	3,196	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	200,000		200,000	178,718	21,282	
共益費	0		0	0	0	
その他	590,000		590,000	435,839	154,161	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他()	0		0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0		0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	29,152,000	0	29,152,000	27,319,421	1,832,579	
差引	0	△ 2,564,984	△ 2,564,984	△ 337,505	△ 2,227,479	

自主事業収入	616,000			268,500		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	616,000			522,222		
自主事業収支	0			△ 253,722		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **恩田地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
かーる軽体操	高齢者	140,955	地活	140,955	93,900		128,075	12,880	
	313名		包括						
	300円/1回		生活						
なごみサロン	高齢者	20,877	地活	20,877	19,200		20,877		
	192名		包括						
	100円/1回		生活						
おりがみキッズ	未就園児とその保護者	1132	地活	1132	0		1132		
	149名		包括						
	無料		生活						
手芸倶楽部	地域の方	2960	地活	2960			2960		
	246名		包括						
	材料費のみ		生活						
うたの広場	地域の方	84099	地活	84099	82200		61248	11851	11000
	282名		包括						
	300円		生活						
骨盤底筋トレーニング塾	女性	163554	地活	163554	163100		116938	35416	11200
	300名		包括						
	350円		生活						
悠YOUmen's②	60歳以上の男性	135026	地活	135026	135026			133005	2021
	207名		包括						
	500円		生活						
生活お役立ち講座	地域の方	12587	地活	12587	9600			11467	1120
	110名		包括						
	回により材料費あり		生活						
コーヒーで地域貢献	地域の方	30235	地活	30235		29100		30235	
	69名		包括						
	400円		生活						
実験教室	小学生	20546	地活	20546	19900		8000	12546	
	78名		包括						
	300円～400円		生活						
実験サポーター養成講座	大学生以上	12216	地活	12216	12000		12216		
	31名		包括						
	3000円		生活						
母の日企画	小学生	13500	地活	13500	13500			13500	
	45名		包括						
	300円		生活						
父の日企画	小学生	14903	地活	14903	14400			14903	
	32名		包括						
	450円		生活						
はらぺこキッズ	小学生	10981	地活	10981	10800			10981	
	27名		包括						
	400円		生活						
栄養講座	地域の方	13363	地活	13363	12500			13363	
	25名		包括						
	500円		生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かーる軽体操	椅子に座り、軽いストレッチと運動を組み合わせ、継続して行うことにより高齢者の健康維持を目的とし、活動を行うことができた。	月2回 第2・4金曜日 23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なごみサロン	概ね65歳以上の方が気軽に集えるサロンとして、地域の方同士がお茶を飲みながらおしゃべりをして、交流を深めることができた。	月1回 第1水曜日 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きらピカ ☆まちびと (恩田今昔物語)	館内や地域にあるコミュニティーハウス、サ高住、塾、中学校、信用金庫、グループホーム、子育て支援拠点等に地域のマップを掲示し、そこにいらっしゃる方に書き込みをして頂き情報を集めた。その情報を集約し、地域の良い所を再発見するマップを作成した。	15回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはやし体験会	恩田地区に古くから続いている郷土芸能の担い手が減少している為、体験会を実施。これまで郷土芸能に触れたことのない子どもや地域の方に関心を持って頂く。上恩田杉山神社囃子保存会に協力して頂き、ひょっこりおかめの踊りや獅子舞、太鼓を体験して希望があれば神社のお祭りに参加する。	月2回 第2・第4土曜日 15回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あかね台 シネマサロン	あかね台のお住まいの有志が中心となって立ち上げたコミュニティカフェの支援。高齢者の孤立を防ぐための、住民主体のカフェが定着出来ることを目指す。	毎月第4水曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はらぺこキッズ	小学校低学年が対象 火や包丁を使わない、子どもが1人でも実践出来る安全な調理法を学ぶ。 男性の料理の会「悠YOUmen's②」のメンバーを地域活動に繋げる。	7月26日（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でゆかた 着付け教室	地域の方が講師となり、ゆかたの着つけ方を保護者に伝える。	7月15日（土）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はらっぱで遊ぼう	近隣にある親と子のあそびの広場「あそびんご」との共催事業 子育てをしている養育者が子育て支援拠点を知る機会を作り、子育て不安を解消・軽減し、安心して子どもを産み育てる環境を醸成する為に身近な場所として活用出来るようにする。 奈良山公園に出掛け、どんぐりや落ち葉拾いをして自然に親しむ。自然観察や写真撮影はボランティアに協力して頂く。	11月13日（月）

平成29年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
もみじのおてて	恩田地区にある、もみじ保育園と共催。 毎月テーマを決め、子育ての情報を発信し、地域の子育て世代のサポートを行う。 子どもと保護者の関わりを深める為の体操や遊びを提案	5月～平成29年 2月まで 毎月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小さいいちご 大きいいちご 親子のひろば	子どもの月齢に合わせて、気軽に利用出来るフリースペースを常設。 保護者同士の交流を促し、子育て中の保護者の孤立を防ぐ。 12時～13時まではランチタイムとする。	小さいいちご 毎週月・水 大きいいちご 毎週火・木 親子のひろば 不定期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
悠YOUmen's①②	2グループ活動中。 定年退職した男性の地域での活動の場づくり。 料理の集まりを通してボランティアとして活動出来るよう育成し、ケアプラザ事業や地域の活動に参加していく。	①第1・第3月曜日 20回 ②第2・第4水曜日 21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
骨盤底筋 トレーニング塾	ピラティス・エクササイズで骨盤底筋を鍛え、尿漏れや腰痛を予防・解消し、外出を控える等閉じこもりの生活になることを防ぐと共に、介護予防を意識する。	19回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お花のボランティア	ケアプラザや地域で活動するお花のボランティアを養成する。これまでボランティア活動をしたことがない方でも趣味を生かして、地域の活動に参加出来るよう繋げていく。	6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手芸倶楽部	手芸を通じた地域の方の交流の場。 趣味の小物作り、寄付用の布おもちゃ作成。 ボランティアグループの育成。	第1・第3火曜日 21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたの広場 @恩田	唱歌やフォークソング、流行の歌等を歌ったり、楽器を使ってリズムをとって音楽を楽しみ、地域の方同士の交流を深める。	第1金曜日 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まちかど相談	行政書士による無料相談会	第2火曜日 第4土曜日 9回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
将棋の会	地域の老人会の囲碁・将棋の会に協力を頂いて実施。 将棋や囲碁を通して、地域の高齢者と子どもの交流の場を設ける。 老人会に属さない高齢者、特に男性の居場所作り。	第4土曜日 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
母の日企画 アロマの バスフィズ作り	小学生（主に新1年生）とその保護者へケアプラザの周知。母の日に合わせて企画。 母親へ日頃の感謝の気持ちを伝えるきっかけ作りをし、家族の絆を深める	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父の日企画 オリジナルカッ プ作り	小学生（主に新1年生）とその保護者へケアプラザの周知。父の日に合わせて企画。 父親へ日頃の感謝の気持ちを伝えるきっかけ作りをし、家族の絆を深める	6月10日（土）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれいば〜く	気軽に利用出来る親子のあそび場。 保護者同士の交流を促し、子育て中の保護者の孤立を防ぐ。季節に合わせた行事や工作等を行い、子育てを楽しむ。	第4木曜日 11回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなで昼食会	悠YOUmen'sによる、地域にお住いの独居の高齢者との食事会。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生活お役立ち講座	生活に今すぐ役立つテーマを取り上げ、最新の情報を発信する。	7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あゆちゃんとうたってあそぼう	未就園児とその保護者の居場所作り。 童謡を歌ったり手遊びをして、パネルシアターとリトミックを楽しむ。 地域の保育士とピアニストのボランティアへ活動の場の提供。	第3水曜日 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
実験教室	未就園児とその保護者の居場所作り。 童謡を歌ったり手遊びをして、パネルシアターとリトミックを楽しむ。 地域の保育士とピアニストのボランティアへ活動の場の提供。	3回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コーヒーで 地域貢献	コーヒーボランティアがグループとして自主的に活動出来るよう支援する。月1回練習会を設け、コーヒー日和やフェスタ、地域活動等でコーヒーを提供する。	13回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おりがみキッズ	子ども達に伝承遊びの1つである折り紙に触れる機会を作る。未就園児を子育て中の母親の交流の場としながら、高齢者の参加希望者も受け入れ、異世代交流の場とする。	12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
恩古知新隊	昨年度「恩田今昔物語」に熱心に参加された方々に、企画の段階からご協力を頂き、自分達で作る講座を実施。地域の歴史ある神社等のお祭りに参加したり、地域に長くお住まいの方からお話を伺い、自分達の住むまちに愛着を持つ。	3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おんちゃんの部屋	隣接するあかね台中学校の定期テスト前の自習室	17回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
自習室	近隣に図書館などの公共施設がない為、中学生の学習スペースの確保や地域の方が静かに読書をしたり学ぶ場として、土日祝日の空いている部屋を活用する。	土日・祝日 15回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
からだにいいことセミナー	病気に対する正しい知識を得て、情報を整理することで、疾患の予防に繋がると共に身近な医療機関や窓口を知る機会とする。	4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
水あそび	月齢を問わない、未就園児が親子で遊べる、夏季限定のフリースペース。	3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス会	「あゆちゃんとうたってあそぼう」「ふれいぱ〜く」合同企画。ピアノの音に合わせて、童謡を歌ったり手遊びをし、パネルシアターを見て楽しむ。 保育士とピアニストがボランティアで行う。子育て中の母親が孤立せず、子育てを楽しめるよう季節に合わせた行事を企画。	1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	日頃、ケアプラザ事業などにご協力頂いているボランティアさんを労い、ボランティア同士が情報交換出来る場。	3月12日（月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体験会	当ケアプラザで活動中の団体Ⅱが継続して活動出来るよう支援し、地域の方にそれぞれの活動を知って頂く機会を設ける。団体の活性化により、来館者の増加を目指す。やさしいヨガ、背骨コンディショニング、健美操、空手、自彊術の5つの団体団体の日頃の活動に入り体験して頂く。	5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
実験サポーター養成講座	地域でボランティア活動を経験したことがない学生から社会人、男性にも気軽に始めることが出来るボランティア養成講座。子ども達に学ぶことの楽しさを伝える為、科学の専門的な知識がない方でも始められる。子ども達の教育を考え、地域住民の仲間作りを目指す。定期的実施している小学生を対象とした科学実験教室のサポーターを養成する。	11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豊かな食事で健康長寿	食生活等改善推進員との共催。高齢者を対象とした食事の大切さを学習する講座。	7月21日（金）

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
栄養講座	健康と栄養について関心を持ち、実習をすることで日常生活に役立てる。	6月14日（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成	認知症を理解し、サポーターの役割や自分に出来ることを考える。 近隣にある施設のメイトと協力し、認知症サポーターを増やす。	3回